

穂の国 34通信

お客様の夢を希望へ、 希望を製品へ、そして進化へ

あいさつ
会社の歳時記
技術の時間
ちょっとコーヒータイム

Vol.12

(有)今泉大伸



〒441-3131
愛知県豊橋市大岩町字小山塚62-28
:0532-41-8282
FAX:0532-41-8297
E-mail info@imaizumidaishin.co.jp
http://www.imaizumidaishin.co.jp

夏の前半戦は、とても暑く各地で猛暑が観測され、後半戦になると今度は東京では35 から25 に一気に10も気温が下がりました。

このたびの東北地方太平洋沖地震災害により、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様、そのご家族の方々に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。

あいさつ



変化が激しくて本当に体にダメージが残りますよね。そんな夏も、あと9月の残暑を乗り切れば終わりです。みなさん、今年の夏はどうでしたか？経済的にも円高が進行し、なかなか楽観できない局面が進んでおります。

当社も、今年はさすがに少しお盆の休みをいただきました。

いつもですと暑いさなかに仕事をするのですけれど、今年は本当に大変でしたから...

なんせ工場の屋根が焼けて、冷房がまったくと言っていいほど効かないんです。

事務の方には、例年では冷房の効く部屋で仕事していただきましたけれど、今年はそこでもあまり効果なし。思い切ってエアコン新品に変えてみたのですがそれでも効果なし...!!

来年は、屋根に太陽熱反射塗料を塗るつもりであります。

さて、今年の夏はいろいろなことがあったと思います。

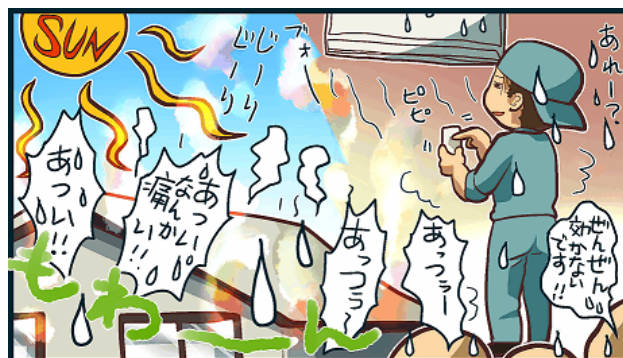
景気回復が本格的になった方、仕事の受注が下がった方。

本当に、それぞれの様な気がします。しかし、やはり最後は自分達で切り開いていくしかないようです。

それだからこそ、体はとても大切だと思います。

体の切れが良ければ内部から意欲も湧いてきます。皆さんも夏の疲れを少し癒して下さい。

さて、今回もニュースレターが始まります。



会社の歳時記

今回の**会社の歳時記**は、先日製作致しました、某エレベーターメーカー様のジャッキ試験装置についてです。

以下がその写真なのですが、今回は製作途中での仕様変更がありまして、なかなか大変でした。



今回のこの試験装置の特徴は、**油圧シリンダーの耐圧テスト用**というところです。

この圧力計は、シリンダーにかかる圧力を直に読む一方で、データをデータロガーに保存できる仕様になっております。

制御盤の中には、油圧ユニットの制御回路と測定用回路が含まれております。

今回、センサー部は客先にて手配していただいたのですが、データロガーが当初 4-20mA の電流出力でデータがとれると思ったのですが、それがだめでした...!

なんと電圧出力でないと読めない。客先に訳を言って変えていただく用をお願いしたのですが、残念ながら間に合いませんでした。

そこで、急きょ電流から電圧に変換する回路を組み込むことにしました。

弱電(センサーの信号)が入ってくる為の誘導ノイズによるチャタリングが心配でしたので、ノイズに配慮した設計になりました。

また、油圧ユニットはAC100Vで使用できる油圧ユニットにしてあります。

そして、納品3日前になって、今度はエンドリミットの装着をしてほしいといわれました。

さて困ったのは、耐圧試験用ということなので、圧力保持のままタイマーで一定の時間で行う仕様にしており、リミットの装着まで想定してなかったし、客先にもすでにそれで御承認いただいておりますので、そのままOKと考えていたのです。

今回は16個のシリンダーを同時に動かすのにリミットの数が必要となる為、少ない工数で実現し、尚、個別のリミットの確認ができることが必要でしたので、それをなんとか実現しました。

ただ、熟慮する暇がなかったので、結果的に多少使用しづらい点が出たことに反省しております。

というわけで、今回は油圧シリンダー耐圧試験装置をご紹介いたしました。



今回ご紹介する前に、当社の外注さんでのお話をしたいと思います。

そこには30代と20代の従業員さんがおりまして、20代の方は4ヶ月前に入社されたそうなんです。

その従業員さんなのですが、その社長さん曰く「これが覚えが早いんだよ!!!」

なんと、朝は早く一人前になる為に一時間早く入社し、仕事後も一時間勉強をするそうなんです。

その時、まだ半人前ということで、自分から残業をつけないそうです。

ここで、社長さんとお話したのですが「どんなに仕事をして、知識は自分で勉強しないかぎり駄目なんだよな!半年もすれば30代と同じになってしまう。その人のやる気次第なんだ。」

そう、おっしゃっていました。新人のみなさんががんばってください。

さて話は戻しまして、技術に必要な物は、まず図面ですよ。

今回は、図面に必須のCADについてお話をしたいと思います。



CADは2次元・3次元があります。2次元であれば、まずAUTOCADが良いと思います。

私はそのAUTOCADを使う前は、花子(ジャストシステム)で書いていました。

AUTOCADの良い点は、モデル空間で実寸で書けることです。

ではまず、なにで勉強を始めれば良いのでしょうか?

私は下記の本をお薦めします。これで、書く準備はできます。



世界一やさしい 超入門 DVD
ビデオでマスターする AutoCAD LT

そして建築にしても機械にしても、部品を登録し引っ張ってくる作業があります。

そんな時は、**試せる AutoCAD LT 徹底解説 LT97/98 対応版** (建築知識スーパームック パドマガCAD 徹底解説シリーズ) (単行本) を購入しましょう。AutocadLT98を使用すると2007も使えます。

パソコンもメモリーが少なくても動きますし、お試しディスクもついてます。

家で勉強するのに最適です。まず、CADは慣れることが大切です。



試せる AutoCAD LT 徹底解説 LT97/98 対応版
(建築知識スーパームック パドマガCAD 徹底解説シリーズ)

ちょっと コーヒータイム

今回のちょっとコーヒータイムは観音様について書きたいと思います。

私どもの会社より西に2キロ程行くと、岩屋山という山がございます。

国道一号線を東から西にいくと右手に観音さまが山の頂上に東をむいて立っているのを見ることができます。

観音様は東の方向を向いているのですが、これが、津波と関係していることは皆さんはご存知ないと思います。

時は江戸時代、宝永の大地震（1707年）にまで話はさか戻ります。

岡山藩主、池田綱政という大名様が参勤交代のため、今の新居（あらい）にお宿を取ったそうなんです。

そして夜、寝ている時に大名の枕元へ観音様がお立ちになられ、明日大地震が発生しここに津波が押し寄せるから「早急に出発するように！」とのお告げがありました。

信仰深かった大名様はすぐに出発、ちょうど今回の東日本大震災と同時刻ぐらいに地震が発生、なんと津波で海岸線は壊滅。

しかし大名様は、潮見坂（海拔8m?）の上にたどり着いて難を逃れたということです。

それが観音様のお告げということで、岩屋山の頂上に観音様を寄進したというお話でした。

昔も津波の関係で、今回のように生死を分けたことあるんですね。

当方でも、津波に無関係ではないということがわかり、身近に感じるできごとでした。

今回は、観音様と津波のお話でした。

